

NCCU NEWS

和歌山支部のみなさんへ

和歌山第 150 号

2026 年 7 月 2 日発行

UA ゼンセン日本介護クラフトユニオン

発行人 和歌山支部長 山本 広子

編集人 近畿総支部主任 林 おりえ

連絡先 近畿総支部 Tel:06-6305-9381

Fax:06-6305-9382

和歌山県知事宛に要請書を提出しました

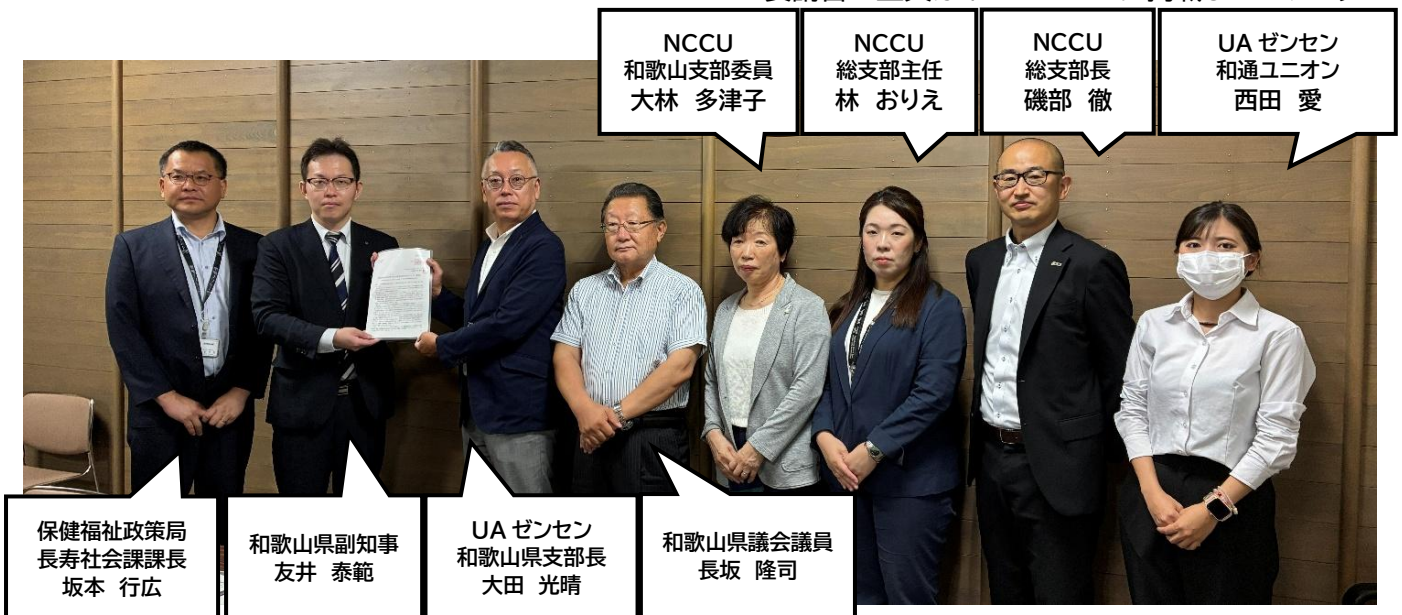
介護支援専門員に対する安全確保の取り組みについて

2026 年 7 月 1 日、UA ゼンセン和歌山県支部と UA ゼンセンに加盟する介護業界の仲間とともに、和歌山県知事宛の要請書を、友井泰範 副知事に、直接手渡しました。この要請の背景には、先月埼玉県で発生したケアマネジャーが殺害された事件を受けて、UA ゼンセン和歌山県支部と NCCU はカスタマーハラスメント防止の観点から介護支援専門員の安全確保に向けた取り組みの強化を県に求めました。

～ 主な要請事項 ～

1. トラブルが懸念される事案に対して、介護事業者や従事者だけでなく、地域包括支援センター・事業者団体・警察などと日頃から連携し、地域全体で対応できる体制づくりの推進
2. 現在、訪問介護だけが対象となっている、県の「安全対策支援事業(利用者等からの暴力行為等への対策として同行者に関わる費用を、県が、市町村に対して補助する事業)」の対象を介護支援専門員にも拡大し、県内全域で活用できるように整備すること ※現在、新宮市だけが当該事業を行っている。

※要請書の全文はホームページに掲載しております



今回の要請活動は、UA ゼンセン和歌山県支部と NCCU と政策協定を締結している県議会議員の長坂 隆司さんと介護現場の課題を情報共有したことをきっかけに実現することができました。

2 枚目につづく

NCCUの主張

NCCU 磯部総支部長は、主な要請事項に加え、介護現場のハラスメント防止をご利用者やご家族に周知するきっかけとして、介護認定決定通知書を郵送する際に、自治体が作成したチラシを同封して啓蒙活動をして事例を紹介し「介護事業者もハラスメント防止について対応をしているが、行政からハラスメントに関する通知があることで、介護従事者をご利用者のハラスメント対応する際に心強く感じるため、県が介護現場のハラスメント防止のための旗振り役になっていただきたい」と述べました。

和歌山支部委員の大林多津子さんは「介護現場では、事件まで発展しないハラスメントが日々発生しています。事業所の中でも男性ヘルパーにサービスに行ってもらうなど可能な限り対策をしていますが限界があります。ハラスメントについてはご利用者自身がわかっていない場合が多く、事業者としても行政に関わっていただくことで、より厳格に対応する後ろ盾にもなります」と介護現場の現状を伝え、行政をしての取り組みをより推進して欲しいと訴えかけました。

■■ 和歌山県副知事の見解 ■■

「トラブルやハラスメントに地域全体で対応する体制づくりについては、地域ケア会議への専門職派遣、地域包括支援センター職員への研修、介護事業者向けのハラスメント対策研修、介護労働安定センターによる相談支援などを通じ、関係機関と連携した対応体制の推進を継続していきます。

また、同行支援等事業補助金の対象拡大は、現在は市町村を通じた補助で、訪問介護員のみが対象ですが、他市町村への活用促進を行うとともに、他県の状況を調査し、令和 9 年度に向けて介護支援専門員などへの対象拡大を検討します」といった趣旨の見解を示しました。

NCCU 近畿総支部行き / FAX:06-6305-9382

NCCU ニュース和歌山支部のみなさんへ～和歌山支部 第 150 号～
和歌山県知事宛に要請書を提出
「介護支援専門員に対する安全確保の取り組みについて」

事業所名:	職種:	氏名:(匿名でも構いません)

上記意見欄の個人情報は、組合の活動にのみ利用します。

※「NCCU の個人情報保護方針・個人情報の取扱い」についてはホームページ <https://www.nccu.gr.jp/>に掲載しております。